

(様式第1号の2)

活動計画書 (活動を新規に立ち上げる場合)

1 申請団体の概要

ふりがな	ちいきつながりサポートのかい		
団体等名称	地域つながりサポートの会		
ふりがな	やまもと たろう	ふりがな	たなか
代表者職・氏名	代表 山本 太郎	連絡担当者職・氏名	事務担当 田中
団体の所在地	〒691-0011 松江市東津田町 000		
TEL	0852-00-0000	FAX	0852-00-0000
E-mail	chiiki@fukushi		
◇活動の体制図 ※組織構成を図示してください 別紙可	構成員数	7 名	
<div style="border: 1px solid black; width: 100px; margin: 10px auto; padding: 5px;">代表</div> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; margin: 10px auto; padding: 5px;">事務局 1 名</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 200px; padding: 10px; text-align: center;"> 運営スタッフ 居場所運営担当 3 名 </div> <div style="border: 1px solid black; width: 200px; padding: 10px; text-align: center;"> 運営スタッフ 相談支援担当 2 名 </div> </div>			

2 活動の概要

(1) 活動のテーマ

<テーマ> ※申請する活動に○を記入	
	①地域での生活を維持するための有償サービス活動 (買い物支援、生活支援、移動支援等)
○	②日常生活や社会生活における孤独・孤立等の課題を抱えた方を地域で支援する活動 (ひきこもり状態にある方の居場所や就労の場づくり等)
<助成期間> ※申請する期間に○を記入	
	1 年間
○	2 年間

(2) 活動の内容

活動名	地域の居場所『つながりカフェ』
①地域の現状と生活課題	地域では高齢化が進む一方、社会参加の機会が少ない若者や中高年、外出機会の少ない高齢者が増えている。民生委員や地域住民からも、孤立状態にある住民やひきこもり状態にある方の存在が見られるとの声がある。地域の活動に参加できず、やむを得ず自治会の脱退する方もおり、余計に出にくい状況にある。
②活動の目的	地域に誰もが気軽に立ち寄れる居場所をつくり、孤独・孤立状態にある方の交流機会をつくるとともに、多世代が地域活動へ参加できる場所を通して社会参加のきっかけをつくる。
③活動地域および対象者（〇〇町内、〇〇自治体内 〇世帯）	〇〇市〇〇地区（約400世帯）を対象とし、ひきこもり状態にある方を主な対象とする。 想定対象者 30名程度。
④活動の内容（利用料金や回数等）	月4回の居場所活動を開催する。お茶を飲みながらの交流、簡単な手作業（クラフト・軽作業等）、地域イベント準備などを行い、段階的に地域活動への参加を促す。体験プログラムのある場合には、参加費徴収。
⑤活動の拠点	地区の中心地にある空き家 ※公民館は少し離れた場所にあり、集まりにくい
⑥活動の発信、告知（誰に、どうやって）	自治会回覧、民生委員、社協広報、チラシ配布、口コミにより参加者を募集
⑦活動の継続（財源確保等）	助成期間中に活動を地域へ定着させ、参加費、寄付、自治会や社協との連携により継続運営を目指す

(3) 活動計画

時期	内容
令和8年9月	立ち上げ準備、関係者会議（団体・社協・自治会長・民生委員など）
令和8年10月	先進活動視察
令和8年11月	チラシ作成
令和8年12月	居場所活動開始
令和9年2月	活動の振り返り、次年度計画
令和9年度	居場所づくり継続、社会参加体験プログラムの実施
令和10年3月	活動の振り返り

※初年度を中心に、2年間の計画を可能な限り記載ください。

3 その他

①助成期間終了後の目指したい地域の姿
孤独や孤立を感じる住民が気軽に集える居場所が地域に定着し、住民同士のつながりが生まれ、地域に開けた場所として支え合う環境が形成されている。
②活動の検証（誰が、いつ、どうやって）
例) アンケート、聞き取りなど 参加者数の記録、利用者への聞き取り、スタッフ会議による振り返りを実施し、事業効果を検証する。

記入例 テーマ②

(様式第1号の4)

活 動 予 算 書

1 収入の部 (単位：円)

項 目	対象経費	1年目	2年目	摘 要 (積算内訳等)
本 件 助 成 金	2,700,000 円	1,800,000 円	900,000 円	
自 己 資 金	393,200 円	259,540 円	133,660 円	注1)
そ の 他	円			
合 計 (★)	3,093,200 円	2,059,540 円	1,033,660 円	

注1) 助成実施により得る見込みの収入は該当しません。

※本件助成金が、対象経費の10分の9以内であることを確認ください。

2-1 支出の部【1年目】 (単位：円)

科 目	摘 要 (積算内訳・仕様等)	対象経費	申請額	自己資金
消耗器具備品費	交流活動用品、文具等 ※別紙	100,000 円	50,000 円	50,000 円
消耗器具備品費	机@15,000 円×4、椅子@5,000 円×20	160,000 円	160,000 円	
賃借料	家賃@30,000 円×6 か月	180,000 円	50,000 円	130,000 円
印刷製本費	チラシ@3,000 円×4	12,000 円	12,000 円	
諸謝金	外部講師謝金@5,000 円×3	15,000 円	15,000 円	
旅費	講師旅費	2,500 円	2,500 円	
保険料	ボランティア保険@28 円×30 名×6	5,040 円		5,040 円
人件費	スタッフ@5,000 円×35 日	175,000 円	175,000 円	
取得費	エアコン1台 (電気工事含む)	210,000 円	160,000 円	50,000 円
施設整備費	トイレ・壁紙改修	1,200,000 円	1,175,500 円	24,500 円
合 計 (★)		2,059,540 円	1,800,000 円	259,540 円

※人件費は、申請額の10%以内であることを確認ください。

2-2 支出の部【2年目】

(単位：円)

科目	摘要(積算内訳・仕様等)	対象経費	申請額	自己資金
消耗器具備品費	交流活動用品、文具等 ※別紙	350,000 円	216,340 円	133,660
賃借料	イベント機材レンタル	100,000 円	100,000 円	
印刷製本費	チラシ@3,000 円×24	96,000 円	96,000 円	
諸謝金	外部講師謝金@5,000 円×3	15,000 円	15,000 円	
旅費	講師旅費	2,500 円	2,500 円	
広報費	パンフレット 100,000 円、HP 制作 200,000 円	300,000 円	300,000 円	
保険料	ボランティア保険@28 円×30 名×24	20,160 円	20,160 円	
取得費	パソコン 1 台 (ウイルスバスター)	150,000 円	150,000 円	
合 計 (★)		1,033,660 円	900,000 円	133,660 円

注2)「1 収入の部」と「2 支出の部」の合計(★)の金額は一致します。

◇以下に該当する場合は、それぞれ記載の資料を添付してください。

- ・ 1 件 10 万円以上の物品の購入にあたっては、物品の詳細が分かる資料 (カタログ) 及び 2 者以上の見積書の写し
- ・ 消耗品 (文房具類等) 購入の場合、内訳が分かる一覧表
- ・ 土地や建物の借用が生ずる場合、契約書類の写し
- ・ 施設整備及び改修を行う場合は、施工図面、見積書 (10 万円以上の場合は 2 者以上)、施設設置場所周辺の地図
- ・ 車輛を取得する場合は、見積書 (10 万円以上の場合は 2 者以上)

◇表面の各摘要欄が不足する場合は、適宜、資料を添付する等により対応してください。